

様式第八（第六十条関係）

許可
破砕業
申請書

許可の更新

令和 〇 年 〇 月 〇 日

神戸市長 あて

(郵便番号) 000-0000
住 所 〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0
氏 名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 000-000-0000

使用済自動車の再資源化等に関する法律第 68 条第 1 項の規定により、必要な書類を添えて破砕業の許可（許可の更新）を申請します。

事業の範囲	破砕処理	
事業所の名称及び所在地		
名 称	〇〇株式会社〇〇センター〇〇営業所	
所在地	(郵便番号) 000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0 電話番号 000-000-0000	
事業の用に供する施設の概要	破砕施設 固定式ニブラ (4.2t/日) (その他別紙のとおり)	
当該施設について廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合には、その許可の年月日及び許可番号	平成 16 年 7 月 1 日 第 69200XXXXX 号 (中間処理)	
他に解体業又は破砕業の許可（他の都道府県のものを含む。）を有している場合にあっては、その許可番号(申請中の場合にあっては、申請年月日)	都道府県・市名	許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）
	〇〇県	第 20XX3000001 号
他に廃棄物処理法に基づく産業廃棄物処理業の許可（他の都道府県のものを含む。）を有している場合にあっては、その許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）	都道府県・市名	許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）
	〇〇県 〇〇市	第 XX100XXXXX 号（収運） 第 XX100XXXXX 号（収運）

破砕業を行おうとする事業所以外の場所で解体自動車又は自動車破砕残さの積替え又は保管を行う場合には、当該場所の所在地、面積及び保管量の上限		○○株式会社○○センター廃車集積場 ○○県○○市○○町 0-0-0 保管場所面積 00m ² 、保管量の上限 00 台
役員の氏名及び住所（業務を執行する社員，取締役，執行役又はこれらに準ずる者をいい，相談役，顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず，法人に対し業務を執行する社員，取締役，執行役又はこれらに準ずる者と同様以上の支配力を有するものと認められる者を含む。法人である場合に記入すること。）		
(ふりがな) 氏 名	役職名	住 所
(ふりがな) ○○ ○○	代表取締役	○○県○○市○○町 0-0-0
(ふりがな) ○○ ○○	取締役	○○県○○市○○町 0-0-0
(ふりがな) ○○ ○○	取締役	○○県○○市○○町 0-0-0
令第 5 条に規定する使用人の氏名及び住所（当該使用人がある場合に記入すること。）		
(ふりがな) 氏 名	役職名	住 所
(ふりがな) ○○ ○○	代表取締役	○○県○○市○○町 0-0-0
(ふりがな) ○○ ○○	取締役	○○県○○市○○町 0-0-0
(ふりがな) ○○ ○○	取締役	○○県○○市○○町 0-0-0
法定代理人の氏名及び住所（未成年者である場合に記入すること。）		
(ふりがな) 氏 名	住 所	
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; left: 0; right: 0; bottom: 0; border-top: 1px dashed black; border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black;"></div> </div>		
発行済株式総数の 100 分の 5 以上の株式を有する株主又は出資の額の 100 分の 5 以上の額に相当する出資をしている者（法人である場合において，当該株主又は出資をしている者があるときに記入すること。）		
(ふりがな) 氏名又は名称	住 所	保有する株式の数 又は出資の金額
(ふりがな) ○○ ○○	○○県○○市○○町 0-0-0	五千株
(ふりがな) ○○ ○○	○○県○○市○○町 0-0-0	三千株
(ふりがな) 株式会社○○○○	○○県○○市○○町 0-0-0	二千株

標準作業書の記載事項	
解体自動車の保管の方法	保管場所の範囲を明確にし，保管規準を遵守して保管する。解体自動車以外の他の廃棄物が混入しないように留意する。
解体自動車の破砕前処理を行う場合にあつては，解体自動車の破砕前処理の方法	
解体自動車の破砕を行う場合にあつては，解体自動車の破砕の方法	生活環境の保全上支障が無いように留意し，適切に破砕処理を行う。解体自動車以外の他の廃棄物が混入しないように留意する。
排水処理施設の管理の方法 (排水処理施設を設置する場合に限る。)	油水分離装置及び溜め枡は定期的に清掃を行い，適切に管理する。
解体自動車の破砕を行う場合にあつては，自動車破砕残さの保管の方法	保管基準に従い，飛散，流出が起こらないように適切に保管する。ASR 以外の残渣（SR）の混入が無いよう区分して保管する。
解体自動車の運搬の方法	自社の運搬車両で飛散流出の無いよう廃棄物処理基準を遵守して運搬する。
解体自動車の破砕を行う場合にあつては，自動車破砕残さの運搬の方法	ASR 以外の異物の混入及び ASR の飛散，流出が無いように運搬する。
破砕業の用に供する施設の保守点検の方法	定期的に点検を行い，破損等がある場合は直ちに補修し，適切に管理する。
火災予防上の措置	燃料採取場所及び燃料保管場所は火気厳禁とする。 消火器を設置する。
△手数料欄	

- 備考
- △印の欄は，記入しないこと。
 - ※印の欄は，更新の場合に記入すること。
 - 事業所が複数ある場合には，「事業所の名称及び所在地」から「当該施設について廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合には，その許可の年月日及び許可番号」までの欄を繰り返し設け，事業所ごとに記載すること。
 - 「事業の用に供する施設の概要」の欄については，当該施設の構造を明らかにする図面等を添付することでも可能とする。
 - 「役員の氏名及び住所」の欄その他の氏名又は名称及び住所の記載を要する各欄については，該当するすべての者を記載することとし，記載しきれないときは，この様式の例により作成した書面に記載して，その書面を添付すること。
 - 「標準作業書の記載事項」の欄については，当該標準作業書の全文の写しを添付することでも可能とする。
 - 用紙の大きさは，日本工業規格 A4 とすること。

事業計画予定地の土地及び建物所有者一覧

		字・地番	所有者	使用者	地目	地積 (m ²)
1	土地	神戸市〇〇区〇〇町〇丁目 〇番〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	宅地	〇〇m ²
	建物	神戸市〇〇区〇〇町〇丁目 〇番〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇		
2	土地	神戸市〇〇区〇〇町〇丁目 〇番〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	宅地	〇〇m ²
	建物	神戸市〇〇区〇〇町〇丁目 〇番〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇		
3	土地					
	建物					
4	土地					
	建物					
5	土地					
	建物					
6	土地					
	建物					
7	土地					
	建物					
8	土地					
	建物					
9	土地					
	建物					
10	土地					
	建物					
合 計						〇〇m ²

事業計画書及び収支見積書（様式 1）

令和 〇 年 〇 月 〇 日 現在作成

1-1. 事業の全体計画（業務を行う時間，従業員数，休業日，扱う車種（乗用車，大型車）を含む。）

解体業者から解体自動車を引取り，シュレッディングマシンで破碎後，鉄，非鉄，ASR に分別する。 一部解体自動車をプレスして鉄スクラップ原料とする。分別・処理した物品の扱いは次のとおり。 ○鉄・・・・・・電炉メーカーに売却 輸出業者に売却 ○非鉄金属・・非鉄金属商社に売却 ○ASR・・・・・・自動車メーカー等の指定する引取場所に引渡し。					
（フロー概略図を添付）					
業務時間	8:30～17:00	従業員数	20 人	休業日	日曜日，祝祭日

1-2. 解体自動車等の引取実績及び計画

年 度	<u>18</u> 年度実績 (3 年前)	<u>19</u> 年度実績 (2 年前)	<u>20</u> 年度実績 (1 年前)	許可取得後の 年間計画
引 取 台 数	20,000 台	22,000 台	24,000 台	25,000 台
主な引取先	○×解体(株) ○○オート(株)	○×解体(株) ○○オート(株)	○×解体(株) ○○オート(株)	○×解体(株) ○○オート(株)

1-3. 破碎実績（圧縮のみを含む）

年 度	<u>18</u> 年度実績 (3 年前)	<u>19</u> 年度実績 (2 年前)	<u>20</u> 年度実績 (1 年前)
年間処理実績	20,000 台	22,000 台	22,000 台
年間稼働日数	280 日	280 日	280 日
平均処理実績	71 台/日	79 台/日	79 台/日

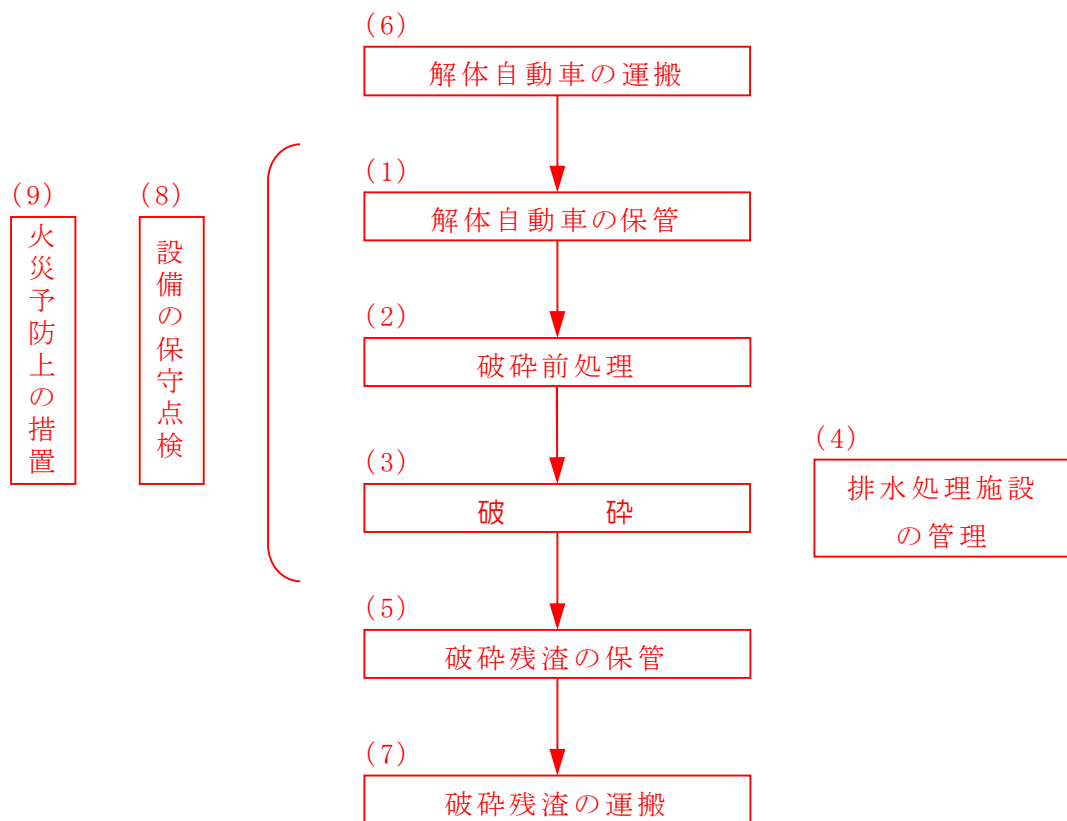
1-4. 破碎等能力

1 日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
100 台/日	280 日	28,000 台

1-5. 保管の状況

解 体 自 動 車		A S R	
保管量の上限	1,200 台	保管量の上限	7,000 m ³
現在保管量	1,000 台	現在保管量	22,000 m ³

フローチャート（処理の流れ）



1-6. 年間収支見積書

項目		前年度（ 20 年）		今年度の見込み	
		（決算月 [3 月]）		（年間）	
		年 度 （千円）	（1 台当） （円）	年度 （千円）	（1 台当） （円）
売上高（全体）	ア（総売上収入）	276,000	12,000	524,000	20,000
売上原価	イ（使用済自動車等購入費）	-120,000	-5,000	75,000	3,000
その他の経費	ウ	269,100	11,700	235,800	9,000
うち廃棄物処理委託費	エ	92,000	4,000	26,200	1,000
営業収益	オ＝ア－イ－ウ	126,900	5,517	213,200	8,137
営業外損益	カ（主に支払利息）	-3,000	-130	-3,000	-115
経常利益	キ＝オ＋カ	123,900	5,387	210,200	8,023
解体自動車等年間引取台数		24,000 台		25,000 台	
解体自動車等年間処理台数		23,000 台		26,200 台	

（参考）

	前年度末	現 在
負債総額（年度末残高）（千円）	100,000	100,000

（注）1 「1 台当」額は，売上原価は引取台数で，その他は処理台数で割ること。

2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。

誓 約 書

〇年 〇 月 〇 日

神戸市長 宛

(申請者)

(郵便番号) 000-0000

住所 〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0

〇〇株式会社

氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

(法人にあっては、主たる事業所の所在地、名称及び代表者の氏名)

・私及び私の使用人（政令で定める者に限る。）

当社，当社の役員及び当社の使用人（同上）

該当する方を囲む

は，「使用済自動車の再資源化等に関する法律」

・第六十二条第一項第二号イからヌまでのいずれにも該当していません。（解体業）

・第六十九条第一項第二号に該当していません。（破碎業）

該当する方を囲む

なお，法令等に違反した場合は，いかなる処分を受けても異議はありません。

○ 年 ○ 月 ○ 日

神 戸 市 長 あて

(申請・届出者)

住 所

○○県○○市○○町○-○-○

氏 名 ○○株式会社

代表取締役 ○○ ○○

同時申請（届出）に関する申立書

本申請（届出）における下記の添付書類については、年 月 日付で貴庁に
同時に申請（届出）した { 引取業者 解体業者 許可申請書 変更届 }
{ フロン類回収業者 破碎業者 } に係る { 登録申請書 } の
ものと共通しておりますので、省略いたします。

該当する項目に○

記

☒ 商業登記簿謄本

☐ 住民票の写し（本人・法定代理人）

☒ 誓約書

☐ 事業所周辺の地図

☐ その他（

該当する項目に✓